

旭丘・小竹地域における 小中一貫教育校について

令和3年7月9日・10日

練馬区教育委員会事務局
教育振興部 教育施策課・学校施設課

目次

1 練馬区の小中一貫教育の取組

- 小中連携グループと施設一体型小中一貫教育校・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 旭丘中学校区における小中連携の取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

2 これまでの検討経過等

- これまでの検討経過・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- これまでの推進委員会や地域説明会等の主な意見等・・・・・・・・・・ 4

3 新校および複合施設の基本設計

- 現状の施設配置および基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 新校および複合施設の基本設計

【資料1】旭丘・小竹地域における新たな小中一貫教育校校舎等改築概要について

【資料2】建替計画

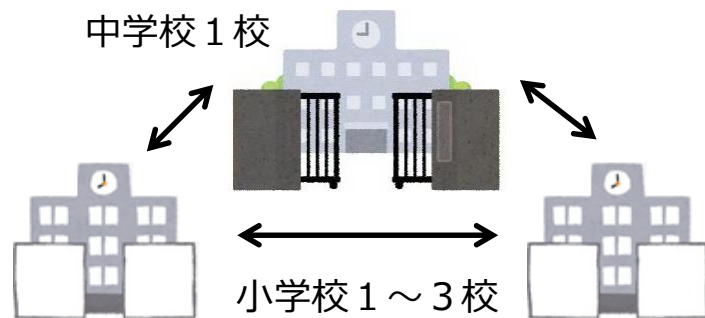
【資料3】新校舎 配置計画

【資料4】新校舎 平面計画

【資料5】仮設校舎 配置・平面計画

1 練馬区の小中一貫教育の取組

【小中連携グループ】



全校で実施

- ・学校ごとに校長・副校長
- ・修業年限は小学校6年、中学校3年

【施設一体型小中一貫教育校】



大泉桜学園（平成23年4月開校）

- ・校長1名、副校長3名
- ・修業年限9年（前期6年、後期3年）

《小中一貫教育の効果》

- 9年間（1年生～9年生）を見越した教育課程による学習指導および生活指導の充実
- 幅広い異年齢集団による豊かな人間性・社会性の育成
- 小学校から中学校への円滑な移行による安定した学校生活

施設一体型では「教員間の連携強化による指導の充実」「異学年交流の活性化」「同一施設内での小学校から中学校への円滑な移行」等が可能となり、より高い教育効果が期待できる

練馬区で2校目となる施設一体型小中一貫教育校を旭丘・小竹地域に開校

旭丘・小竹地域における小中連携の取組



『目指す15歳の姿』

- ◆ 未来を切り拓く力を獲得するための基礎的・基本的な学びを身に付け、課題解決に主体的に取り組むとともに、自分の考えを豊かに表現できる生徒
- ◆ 心身ともに健康であり、自身の在り方を他者との関係性において深く内省し、よりよいかかわりを求めることで、自他ともに大切にできる生徒
- ◆ 学校生活における一体感、地域や関係各校との絆を大切に、新たなよき伝統を築こうとする進取の姿勢を育む生徒

学校間の交流

- 小学生の中学校部活動体験
- 中学生による職場体験
(小学校へリトルティーチャーとして学習支援等)
- 小中の特別支援学級の合同学習 等



交流スペース設置等による
異学年交流の更なる活性化

一貫性のある指導

- 3校の教員による授業改善等の合同研究会の実施
- 中学校教員の小学校への乗入授業
- 小・中学校の授業や行事の相互参観 等



教員の連携強化による
教育活動の充実

近接する3大学との連携

- 大学の留学生との交流会等の実施
- 小・中学校の文化発表会の準備を大学生が指導
- 中学校の放課後勉強会に学生ボランティアが参加



大学連携の
継続・発展

これまでの取組を踏まえ、3校や地域の特色を活かした魅力ある学校づくりを検討

2 これまでの検討経過等

令和元年度

R1.10月 ~ R2.1月 小中一貫教育校推進委員会(※)を設置・開催【令和元年度：計4回】

※ 保護者や地域の代表および学校長等で構成。以下「推進委員会」という。

R1.12月 地域説明会を開催（保護者および学区内の地域の方を対象）

令和2年度

R2.7月 ~ 11月 小中一貫教育校推進委員会を開催【令和2年度 計2回】

R3.1月 練馬区公式ホームページにおいて検討状況等（教育活動・施設面）を報告

令和3年度

R3.6月 小中一貫教育校推進委員会を開催

7月 地域説明会を開催（保護者および学区内の地域の方を対象）

これまでの推進委員会および地域説明会の主な内容等については、下記に掲載しています。

[練馬区ホームページ](#) > [子育て・教育](#) > [教育](#) > [学校教育・施設](#) > [小中一貫教育の推進](#) >

[施設一体型小中一貫教育校](#) > [現在進めている取組（旭丘・小竹地域における新たな小中一貫教育校）](#)



《 これまでの推進委員会や地域説明会等の主な意見等 》

◆ 魅力ある学校づくり、教育活動等について

- 先生方を含め、教育委員会としてもしっかりと準備して行ってほしい。
- 9学年の交流は魅力の1つなので、授業や休み時間等での様々な交流を検討して行ってほしい。
- 小学1年生から中学3年生までが一緒に学校生活を送ることになるので、みんなが安心して心地よく過ごせる学校にして行ってほしい。
- 学校行事等については、子どもたちや保護者の意見も踏まえて検討してほしい。
- 地域や大学との連携は、新校においても充実させて行ってほしい。
- 旭丘・小竹地域の特色を活かした、時代にあった魅力ある学校を期待する。
- 幼児教育との連携も検討してほしい。
- 先進自治体のカリキュラムも参考にしてほしい。

◆ 施設整備・工事等について

- 北側と南側の建物を繋ぐ渡り廊下は、子どもたちや教職員が円滑に運用できる幅を確保してほしい。
- 敷地内に学童クラブ等の居場所を確保してほしい。
- エレベーターやだれでもトイレの設置など、バリアフリー化の対応をしてほしい。
- 防災拠点として施設機能を強化してほしい。防災備蓄庫を利用しやすい場所に設置してほしい。
- 工事期間中は車両等が行き来するため、登下校時など子どもたちの安全をしっかりと確保してほしい。
- 複合施設は、利用者が使いやすい施設になるように場所等の検討をしてほしい。

◆ その他

- 今後のスケジュールやその間の学校生活等について、定期的に情報提供をしてほしい。

引き続き、地域や学校からのご意見を伺いながら、新校の開校に向けた準備を実施

3 新校および複合施設の基本設計

現状の施設配置と基本的な考え方



《9年間を見通した教育活動》

様々な学年の組み合わせによる学校行事や交流活動の実施が可能となるような施設

《特別支援学級との交流》

通常の学級の子どもたちと共に学び、交流できるよう配慮

《安全面への配慮》

小学生と中学生の体格差等を考慮

《防災機能の確保》

災害時の地域における避難拠点としての役割

《施設の複合化》

学校敷地内における子どもたちの放課後の居場所確保

地域や学校からいただいたご意見等を踏まえ、設計を実施

担当および連絡先

◆ 教育施策課

- 今後の検討事項、スケジュール等に関する事

◆ 学校施設課

- 学校施設の改築・改修に関する事
- 学校の施設整備に関する事

◆ 学務課

- 通学区域に関する事、就学に関する事（学事係）
- 特別支援教育に関する事（就学相談係）

◆ 教育指導課

- 小中一貫教育に関する事 ○ 大泉桜学園に関する事
- 学習内容や学校行事に関する事

《複合施設に関する事》

- 児童館、学童クラブ等に関する事 … 子育て支援課
- 街かどケアカフェ、地域包括支援センターに関する事 … 高齢者支援課
- 敬老館に関する事 … 高齢社会対策課



問い合わせ先	電話番号	メールアドレス
教育施策課	5984-1034	ATGAKKO@city.nerima.tokyo.jp
学務課 学事係	5984-5659	GAKUMUKA@city.nerima.tokyo.jp
学務課 就学相談係	5984-5664	GAKUMUKA@city.nerima.tokyo.jp
学校施設課	5984-5723	SISETUQSYOKU@city.nerima.tokyo.jp
教育指導課	5984-5759	SHIDOSHITSU@city.nerima.tokyo.jp
子育て支援課	5984-5827	KOSODATE03@city.nerima.tokyo.jp
高齢者支援課	5984-4582	KOUREISYASIEN01@city.nerima.tokyo.jp
高齢社会対策課	5984-1068	KOUREITAIISAKU01@city.nerima.tokyo.jp

旭丘・小竹地域における新たな小中一貫教育校校舎等改築概要について

旭丘小学校・旭丘中学校は、過小規模の解消および施設の老朽化に対応するため統合再編し、新たな施設一体型小中一貫教育校として校舎等の改築を以下のとおり計画しています。

記

1 設計方針

- (1) 教育内容の多様化への対応
多目的スペースの確保、ICT 環境の整備
- (2) 環境配慮
屋上緑化、雨水利用、太陽光発電
- (3) バリアフリー化の推進
段差の解消、だれでもトイレの設置、エレベーターの設置
- (4) 防災拠点としての機能強化
防災備蓄倉庫、マンホールトイレ、体育館空調機の設置

2 施設概要

(1) 新校舎

構 造：北棟 鉄筋コンクリート造 4 階建
南棟 鉄筋コンクリート造 2 階建
延床面積：約 14,600 m²（複合化施設 約 800 m²含む）
校 庭：第一校庭 200mトラック、直線 100m
第二校庭 150mトラック、直線 50m
計画諸室：普通教室、特別教室、特別支援学級、特別支援教室、管理諸室、
給食室、学童クラブ室、ひろば室等
※第一体育館、第二体育館、武道場、プールは新校舎内に合築
複合化施設：地域包括支援センター、街かどケアカフェ、児童館

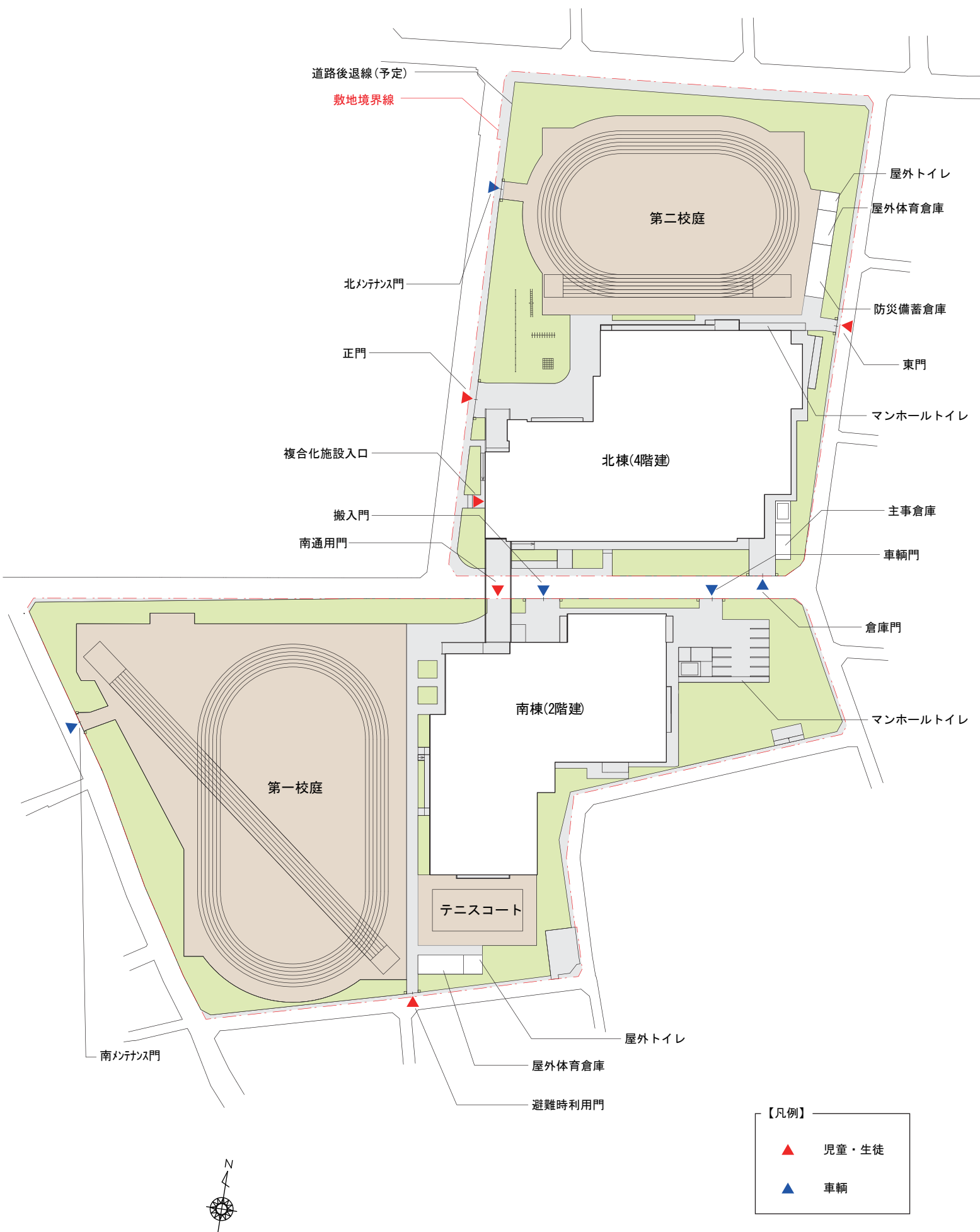
(2) 仮設校舎

構 造：軽量鉄骨造 3 階建
延床面積：約 5,200 m²
計画諸室：普通教室、特別教室、特別支援学級、特別支援教室、管理諸室等

3 建替計画および平面計画等

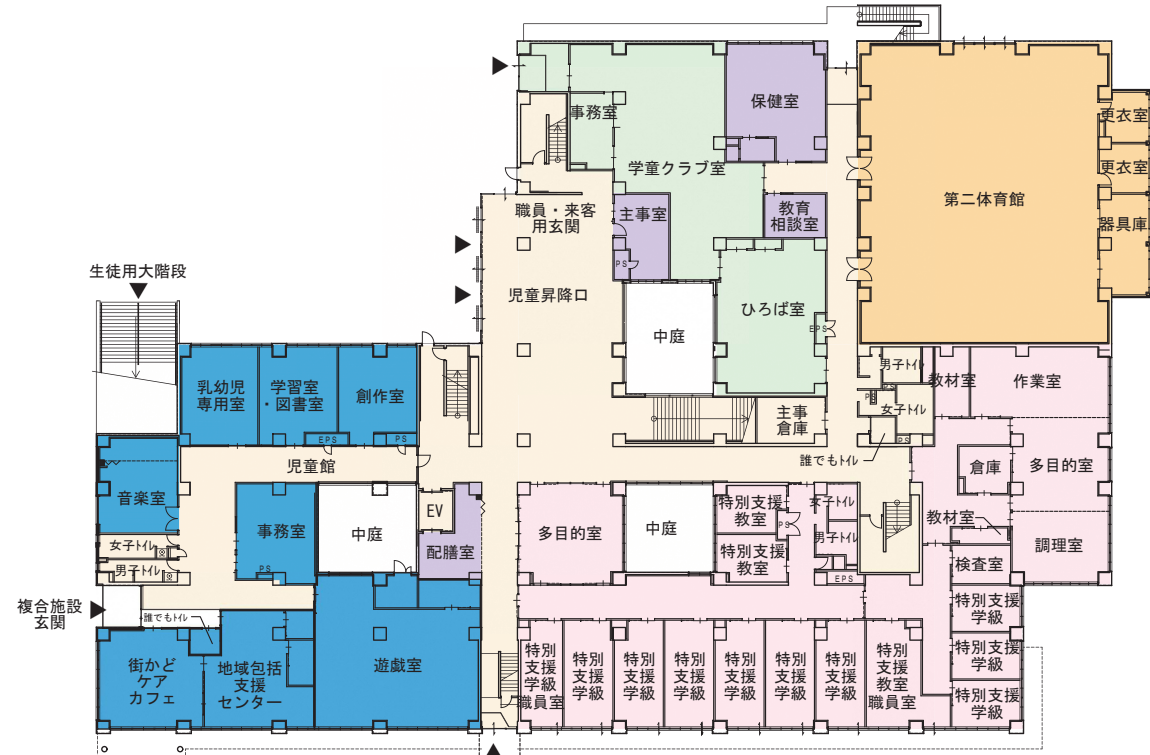
資料 2～5 のとおり

*現時点での計画であり、今後変更する場合があります。

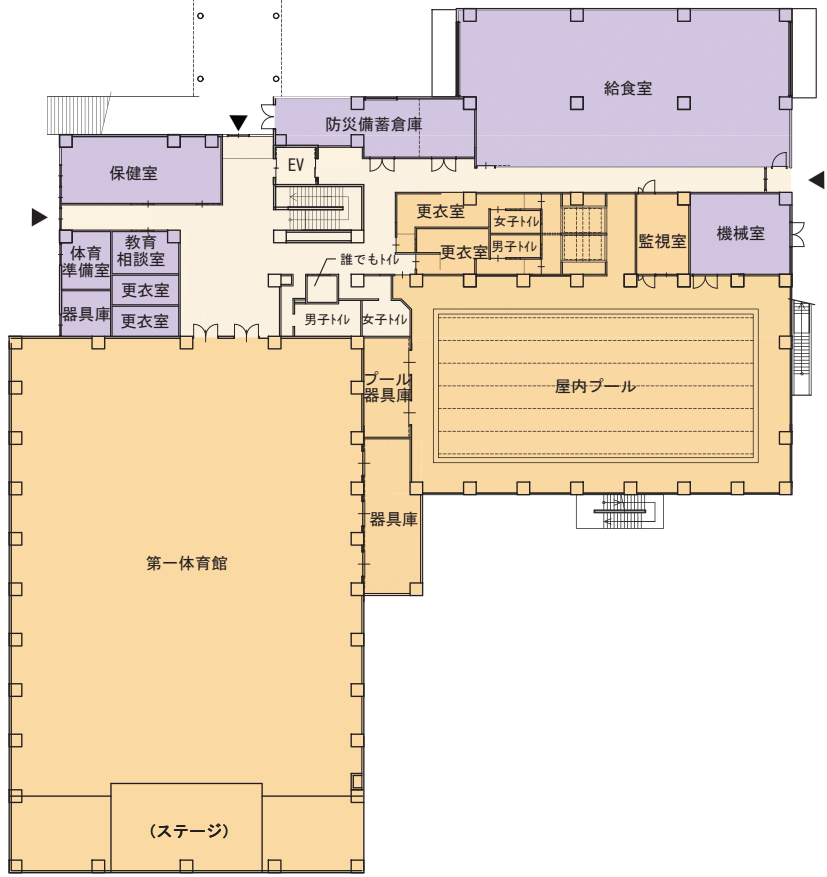


配置図

北棟



南棟

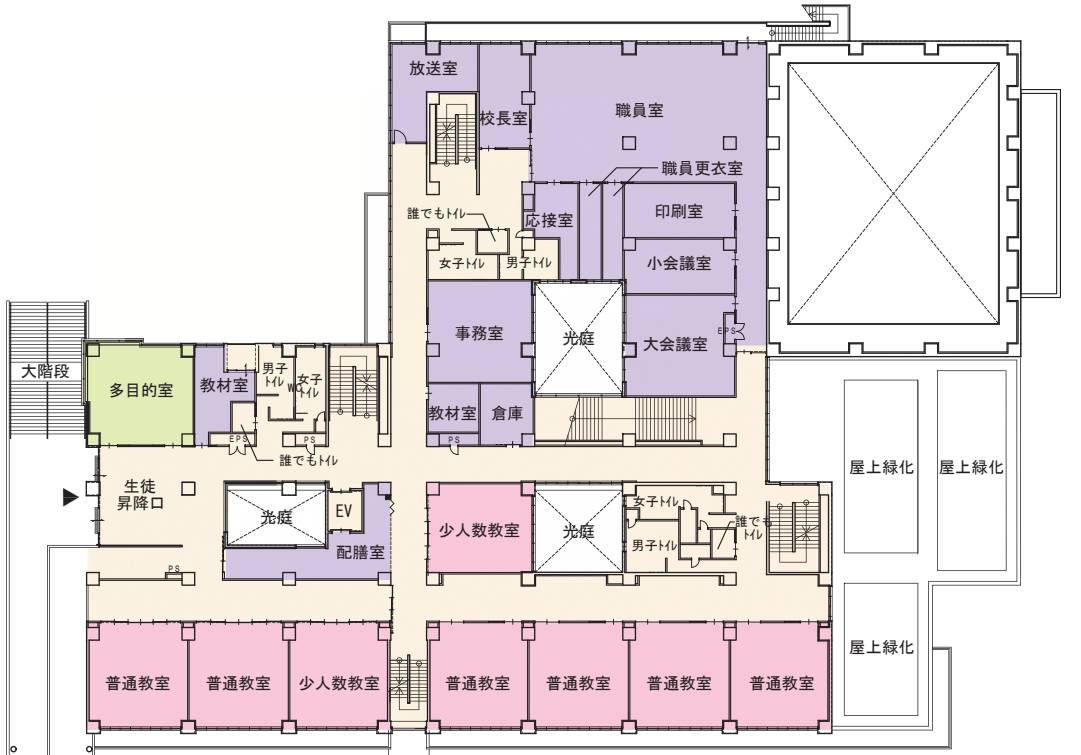


1階平面図

1:600



北棟



南棟



2階平面図

凡例

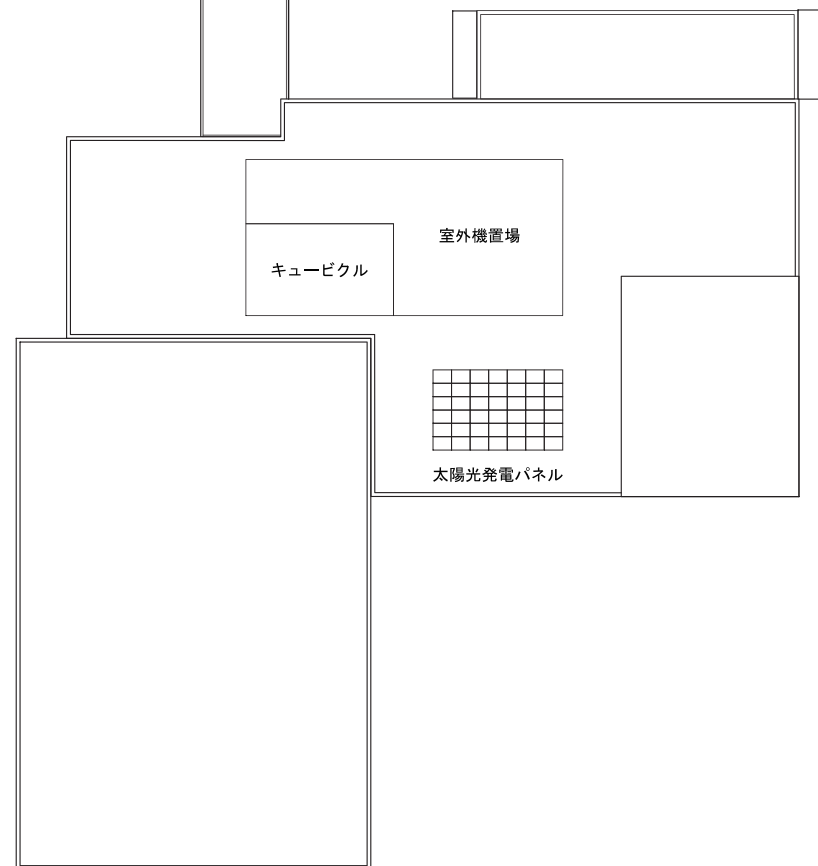
	普通教室・少数教室
	特別支援関係諸室
	学童クラブ・ひろば
	特別教室
	体育関連諸室
	管理諸室
	複合化施設
	廊下・階段等

北棟



3階平面図

南棟



屋上階平面図

1:600

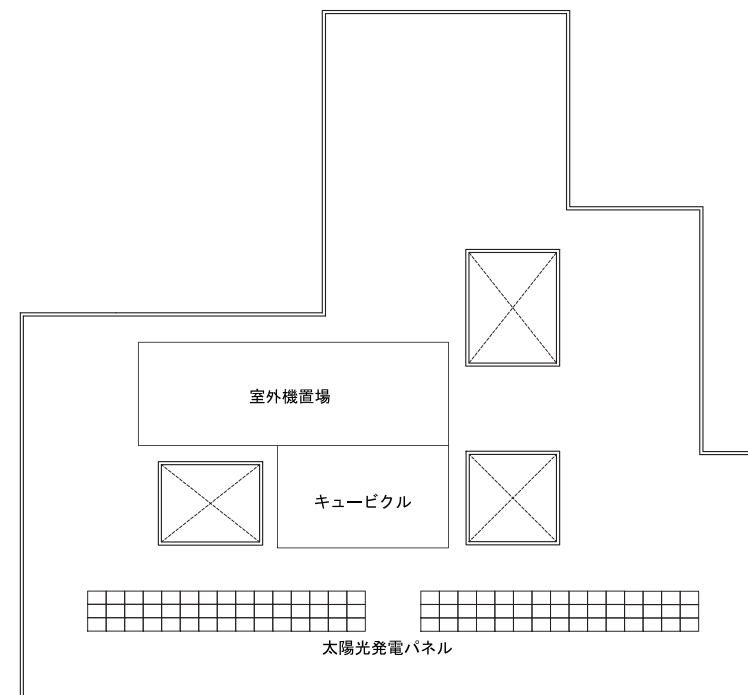


北棟



4階平面図

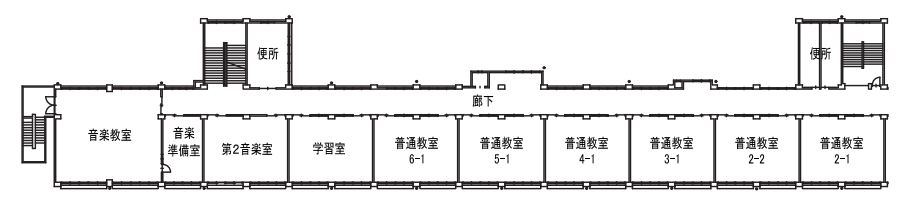
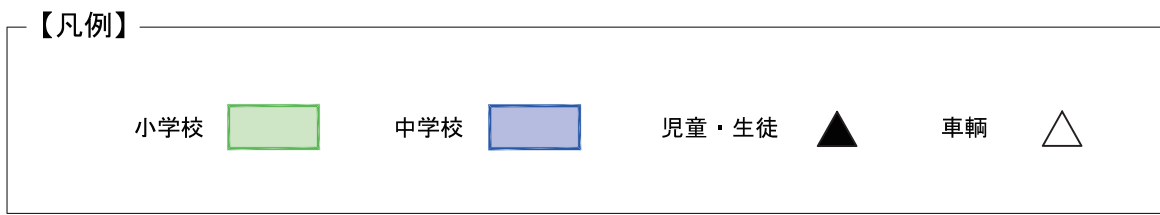
北棟



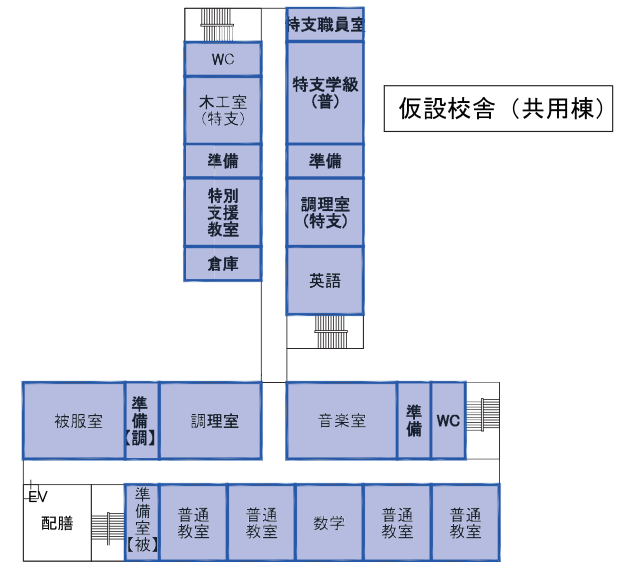
屋上階平面図

凡例

- 普通教室・少人数教室
- 特別支援関係諸室
- 学童クラブ・ひろば
- 特別教室
- 体育関連諸室
- 管理諸室
- 複合化施設
- 廊下・階段等

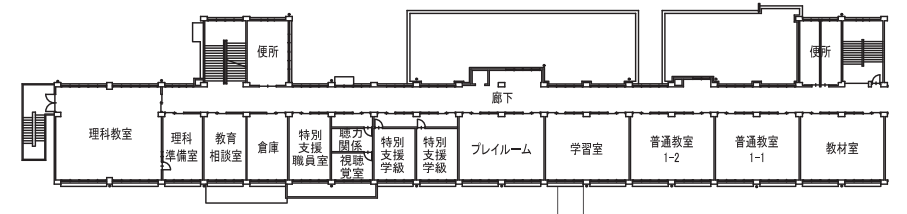


既存利用校舎（小学校棟）

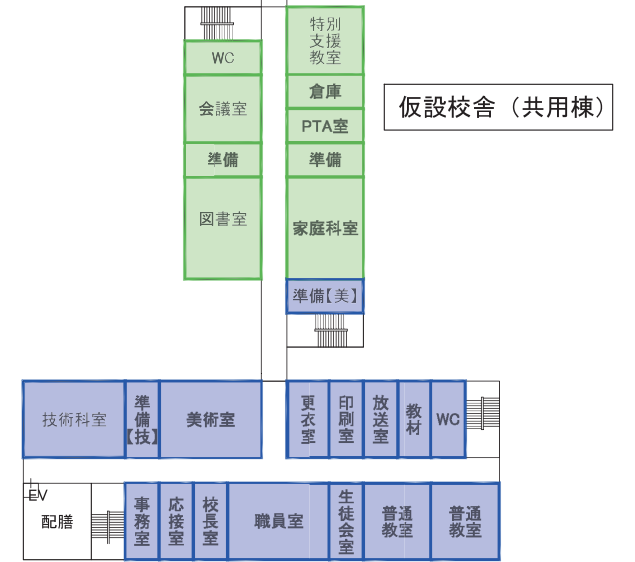


仮設校舎（中学校棟）

3階平面図



既存利用校舎（小学校棟）



仮設校舎（中学校棟）

2階平面図